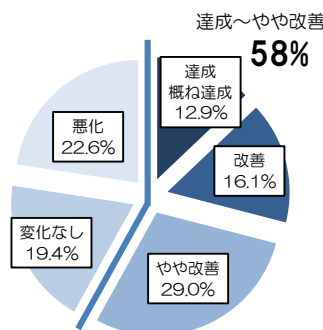


枚方市歯科口腔保健計画 ～中間評価～ 概要版



枚方市健康増進計画
マスコットキャラクター
カフェセミ教授



【目標達成度】

| 目標達成度 | 判定基準 | 項目数 |
|---------|----------------|----------|
| 達成・概ね達成 | 達成率90%以上 | 4(12.9%) |
| 改善 | 達成率50%以上90%未満 | 5(16.1%) |
| やや改善 | 達成率10%以上50%未満 | 9(29.0%) |
| 変化なし | 達成率-10%以上10%未満 | 6(19.4%) |
| 悪化 | 達成率-10%未満 | 7(22.6%) |
| 合計 | | 31(100%) |

| 達成状況 | 項目名 |
|------------|---|
| 達成 概ね達成 | 中学生・高校生における歯肉に所見を有する者の減少 |
| | 50歳で歯間部清掃用器具を使用する者の増加 |
| | 障害者(児)入所施設での定期的な歯科健康診査実施率の増加 |
| | 糖尿病と歯周病の関係について知っている者の割合の増加 |
| 改善 | 過去1年間に歯科健康診査を受診した者の増加(一般) |
| | 3歳児でのう蝕(むし歯)のない者の増加 |
| | 40歳で喪失歯のない者の増加 |
| | 喫煙と歯周病の関係について知っている者の増加 |
| やや改善 | 60歳で未処置歯を有する者の減少 |
| | 「8020運動」という言葉を知っている者の増加(小・中・高) |
| 変化なし | 過去1年間に歯科医院で口腔清掃について個別に指導をうけた者の増加(小・中・高) |
| | 過去1年間に歯科医院で口腔清掃について個別に指導をうけた者の増加(一般) |
| | 過去1年間に歯科健康診査を受診した者の増加(小・中・高) |
| | かかりつけ歯科医を有する者の増加(一般) |
| | 60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少 |
| | 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の増加(75～84歳) |
| | 妊産婦歯科健康診査受診率の増加 |
| | 介護老人福祉施設・介護老人保健施設での定期的な歯科健康診査実施率の増加 |
| 悪化 | 「8020運動」という言葉を知っている者の増加(一般) |
| | 「噛ミング30」という言葉を知っている者の増加(小・中・高) |
| | 「噛ミング30」という言葉を知っている者の増加(一般) |
| | フッ素入りの歯磨き剤を使用している者の増加(小・中・高) |
| | フッ素入りの歯磨き剤を使用している者の増加(一般) |
| | 40歳の未処置歯を有する者の減少 |
| 悪化 | かかりつけ歯科医を有する者の増加(高校生) |
| | 3歳児での不正咬合等が認められる者の減少 |
| | 12歳児でう蝕(むし歯)のない者の増加 |
| | 学校歯科健康診断の結果について「わからない・覚えていない」者の減少 |
| | 20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少 |
| 悪化 | 40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少 |
| | 60歳で歯間部清掃用器具を使用する者の割合の増加 |



7項目中5項目が
学齢期～成人期の
目標項目

【枚方市歯科口腔保健計画】 計画期間：平成28年度～平成35年度

全ての市民が健康で安心していきいきと暮らすことができるまちの実現を目指し、平成26年3月に「第2次枚方市健康増進計画」を策定しました。さらに、歯と口の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進していくための計画として、平成28年3月に「枚方市歯科口腔保健計画」を策定しました。

【中間評価の趣旨】

本計画は、平成28年度～平成35年度の8年間の計画ですが、第2次枚方市健康増進計画とあわせて、平成30年度を中間評価の年度としています。目標の達成状況や関連する取り組み状況を確認することで、歯科口腔保健の推進に係る、新たな課題の把握や、今後の取り組み方向の確認をすることを目的に中間評価を行いました。

【中間評価のまとめ】



全体的に歯と口の健康づくりの意識は向上している

- ・歯周病と糖尿病・喫煙の関係を知っている者の増加
- ・過去1年間に歯科健康診査や個別の指導を受けた者の増加 等



学齢期～成人期における課題が残る結果に

- ・学齢期のう蝕(むし歯)の増加
- ・成人期の歯肉炎・歯周炎の増加
- ・20歳代・30歳代の男性のかかりつけ歯科医を有する者の割合が低い 等



最終年度(平成35年度)に向けて、今後優先的に取り組むこと

- ★ 「8020運動」「噛ミング30」という言葉が市民の目に触れる機会を増やす
- ★ う蝕(むし歯)や歯周病を予防するため、小学校に入学後も保護者等による磨き残しのチェックを継続する必要性を啓発する
- ★ 学生や子育て世代・働く世代が歯と口の健康に関心を持てるよう啓発を行う
- ★ かかりつけ歯科医を持ち、専門職による定期的な介入(プロフェッショナルケア)を受けることの必要性について啓発する
- ★ 乳幼児、小中学生、高齢者、妊産婦、障害者(児)、要介護者、有病者等に関わる職種へ歯と口の健康づくりに関する情報提供を実施する



詳しくは枚方市保健センターホームページをご覧ください

平成31年3月
枚方市

からだの健康は「お口」から ～歯と笑顔の輝く枚方市へ～

枚方市歯科口腔保健計画中間評価から見た課題

※上段：目標項目[目標値] 下段：策定時値(平成26年度)→現状時値(平成29～30年度) [達成状況]

歯科口腔保健推進の方向性を踏まえた目標

「8020運動」「噛ミング30」の認知度をあげること、「かかりつけ歯科医」を有する人を増やすことが必要です

「8020運動」という言葉を知っている者の増加 [80%]

小中高 4.5%→14.3% [やや改善]
一般 27.8%→29.7% [変化なし]

「噛ミング30」という言葉を知っている者の増加 [80%]

小中高 3.8%→5.9% [変化なし]
一般 8.4%→9.4% [変化なし]

フッ素入りの歯磨き剤を使用している者の増加 [90%]

小中高 36.2%→36.7% [変化なし]
一般 45.9%→49.1% [変化なし]

過去1年間に歯科医院で口腔清掃について個別に指導を受けた者の増加 [65%]

小中高 25.0%→31.8% [やや改善]
一般 51.4%→55.9% [やや改善]

過去1年間に歯科健康診査を受診した者の増加 [65%]

小中高 28.9%→36.4% [やや改善]
一般 59.1%→63.8% [改善]

かかりつけ歯科医を有する者の増加 [70%]

高 55.8%→41.9% [悪化]
一般 62.8%→66.0% [やや改善]

乳幼児期

乳幼児期では、噛むチカラを育み、う蝕(むし歯)と不正咬合を予防することが必要です

3歳児でのう蝕(むし歯)のない者の増加 [90%]
85.3%→88.3% [改善]

3歳児での不正咬合等が認められる者の減少 [10%]
12.4%→12.9% [悪化]

学齢期

学齢期では、う蝕(むし歯)や歯周病を予防するために、小学校入学後も保護者等による磨き残しのチェックを継続することが必要です

12歳児でう蝕(むし歯)のない者の増加 [65%]
59.4%→53.7% [悪化]

中学生・高校生における歯肉に所見を有する者の減少 [20%]
22.9%→19.8% [達成・概ね達成]

CO・GOと診断された者に対して個別指導を実施している小学校・中学校・高等学校の増加 [全校で実施]

小学校 4/45校→2/45校 [分類なし(減少)]
中学校 0/19校→2/19校 [分類なし(増加)]
高校 2/6校→3/6校 [分類なし(増加)]

学校歯科健康診断の結果について「わからない・覚えていない」者の減少 [小13%、中15%、高13%]

小学生 24.9%→26.7% [悪化]
中学生 30.4%→35.3% [悪化]
高校生 25.6%→29.9% [悪化]

成人期

成人期は、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯科健康診査を受けることが必要です

20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少 [25%]
42.7%→45.3% [悪化]

40歳代における進行した歯周病を有する者の減少 [25%]
54.8%→58.2% [悪化]

40歳の未処置歯を有する者の割合 [10%]
41.2%→41.0% [変化なし]

40歳で喪失歯のない者の増加 [75%]
62.5%→67.7% [改善]

喫煙と歯周病の関係について知っている者の増加 [50%]
30.6%→41.1% [改善]

50歳で歯間部清掃用器具を使用する者の増加 [55%]
30.8%→53.2% [達成・概ね達成]

高齢期

高齢期は、歯間部清掃用具を用いて口の中を清潔に保ち、誤嚥性肺炎を防ぐことが必要です

60歳で未処置歯を有する者の減少 [10%]
61.3%→33.1% [改善]

60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少 [45%]
65.3%→60.9% [やや改善]

60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の増加 [さらなる増加]
70.2%→69.4% [分類なし(減少)]

80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の増加 [50%]
45.4%→47.6% [やや改善]

60歳代における咀嚼良好者の増加 [さらなる増加]
82.0%→80.2% [分類なし(減少)]

60歳で歯間部清掃用器具を使用する者の割合の増加 [60%]
50.0%→47.7% [悪化]

妊産婦、障害者(児)、要介護者、有病者に関わる職種への情報提供が必要です

妊産婦

妊産婦歯科健康診査受診率の増加 [35%]

25.9%→27.2% [やや改善]

障害者(児)

障害者(児)入所施設での定期的な歯科健康診査受診率の増加 [100%]

60.0%→100% [達成・概ね達成]

要介護者

介護老人福祉施設・介護老人保健施設での定期的な歯科健康診査実施率の増加 [50%]

31.8%→39.1% [やや改善]

有病者

糖尿病と歯周病の関係について知っている者の割合の増加 [40%]→[50%]

34.3%→42.5% [達成・概ね達成]

配慮を要する者



からだの健康は「お口」から！
かかりつけ歯科医を持ち、健康な歯を保ちましょう♪

